

※このメールは、東京都産業教育振興会の会員の皆様に対し、一斉に送付しています。



東京の産業と教育（電子版）

第 34 号 令和 4 年 6 月 2 2 日

東京都産業教育振興会事務局では、年 2 回印刷物により発行している会報「東京の産業と教育」とは別に、この「東京の産業と教育（電子版）」を発行しています。

産業教育の振興を願って、会員校の新しい取り組みや特色ある活動を紹介します。

☆今日のコンテンツ—————☆

【1】 専門高校の紹介動画「専門高校ってどんなところ？」を紹介します

【2】 現代社会の課題に農業系高校生が挑戦します

【3】 デジタル人材の育成を目指す「Tokyo P-TECH 事業」を紹介します

【4】 「ものづくり」を通して課題解決（消毒液スタンド製作から）

【5】 情報の募集について

☆—————☆

【1】 専門高校の紹介動画「専門高校ってどんなところ？」を紹介します —————☆

文部科学省において、専門高校の教育内容等を紹介する動画（5分程度）が作成されました。主に中学生、保護者、中学校の先生に向けて専門高校の教育内容や生徒の実像の発信により専門高校に対する理解、興味関心を高めることを目的として作成したものです。

都産振は、中学校・義務教育学校・中等教育学校会員総計 439 校、対して専門高校等の高校会員は 79 校と圧倒的に中学校会員が多いという会員構成が特徴です。

都産振会員高校も各々に動画等を工夫して学校HPで紹介していますので、併せて御覧ください。学校説明会情報等も順次紹介されています。

[文部科学省公式動画「専門高校ってどんなところ？」はこちらから](#)

【2】 現代社会の問題に農業系高校生が挑戦します —————☆

都立農産高校全日制課程HP、5月6日のニュースで「農業クラブ総会・意見発表会」の情報が発信されています。学校農業クラブとは全国の農業高校生が参加している団体で、農業に関する様々な競技や研究活動など、全国レベルで活動しています。

その全国大会に向け、まず都予選会への学校代表者を選出するものが今回の意見発表会です。HPでは、園芸を通じた社会作り、環境保全、フードロス、食料自給率など、様々なテーマの発表で、改めて問題を考える良い機会であったと伝えています。

私たちが抱えている社会問題を高校生たちがどのように捉えて考えているのか、興味がわきます。会報電子版では、その一部を都立農産高校の協力を得て今月末に都産振のHPで、その一部を紹介することにしました。お楽しみに！

[都立農産高校全日制課程HPはこちらから](#)

[都産振HPはこちらから](#)

月末更新までお待ちください

【3】 デジタル人材の育成を目指す「Tokyo P-TECH」事業を紹介します —————☆

「Tokyo P-TECH 事業」の実施について、東京都教育委員会HP上で5月12日に報道発表がありました。

「Tokyo P-TECH 事業」は企業や専門学校と連携しデジタル人材の育成を目指す教育プログラムで、昨年度から都立町田工業高校で実施されていますが、今回、新たに都立

荒川工業高校、都立府中工業高校において試行的に実施し、令和5年度から本格的に実施するというものです。

この事業には企業その他、日本電子専門学校、日本工学院八王子専門学校も参加しています。この記事に関連するHP内の関連ページにリンクをはって紹介します。

[東京都教育委員会HP内の関連ページはこちらから](#)

[都立町田工業高校HP内の関連ページはこちらから](#)

[都立荒川工業高校HP内の関連ページはこちらから](#)

[都立府中工業高校HP内の関連ページはこちらから](#)

[日本電子専門学校HP内の関連ページはこちらから](#)

[日本工学院八王子専門学校HP内の関連ページはこちらから](#)

【4】「ものづくり」を通して課題解決（消毒液スタンド製作から）—————☆

中野工業高校定時制課程の消毒液スタンド製作に関わる情報を起点に、情報提供を呼び掛けたところ、都立総合工科高校、都立田無工業高校から情報を寄せていただきました。御協力ありがとうございました。都産振HPで紹介します。

消毒液スタンドのように役立つ「ものづくり」を通して、機械や工具の使い方だけではなく、課題を解決するという大切なことを学んだことが伝わってきます。まさに、これが工業高校の強みの一つではないかと考えています。今月末、都産振HPにアップしますので、是非御覧ください。

[都産振HPはこちらから](#)

月末更新までお待ちください

【5】情報の募集について—————☆

今年度は、昨年度に引き続き単独の学校情報を発信することに加え、そこから広がる様々な企画を取り入れ、専門高校や専門学校等における教育活動の紹介を充実させたいと考えています。そのため、都産振HPを活用して情報を広げます。特色ある産業教育の実践を是非、御紹介ください。今回の農産高校のような公開意見発表会などの実践も都産振のHPにアップすることで、情報を深めたり広げたりすることができます。

また、「こんな情報がほしい」というような御希望等ございましたら、下記担当までお知らせください。会報電子版を会員の情報発信や交流に役立てるように皆様の力をお貸しくださいますようお願いいたします。

【お願い】

この「東京の産業と教育（電子版）」は全文が著作権で保護されていますが、東京都産業教育振興会の会員校や会員企業の内部では情報共有して下さるようお願いいたします。

東京都教育庁都立学校教育部高等学校教育課内

〒163-8001 東京都新宿区西新宿2-8-1

TEL 03-5320-6729 都庁内線 53-247

E-mail : Osamu_Namiki@member.metro.tokyo.jp
